

安全ブレーカ CB32X 基準周囲温度について

安全ブレーカは、2009年1月のモデルチェンジで「新製品 CB32X」となりました。モデルチェンジに合わせて基準周囲温度が変更になっていますので、ご注意ください。

基準周囲温度について

JIS C 8211(住宅及び類似設備用配線用遮断器)では、ブレーカの基準周囲温度を25℃又は40℃と規定しており、住宅用分電盤ではその用途から25℃の採用が一般的ですが、安全ブレーカは、住宅以外、事務所、ビル等の電灯分電盤にも数多く使用しますので、当社では、より汎用性の高い基準周囲温度40℃を採用致しておりました。

今回、分電盤の主流がプチスリムに移り、安全ブレーカは、住宅用分電盤に限定され本来の住宅用として使用されることから、使用環境に合わせた仕様と致しました。

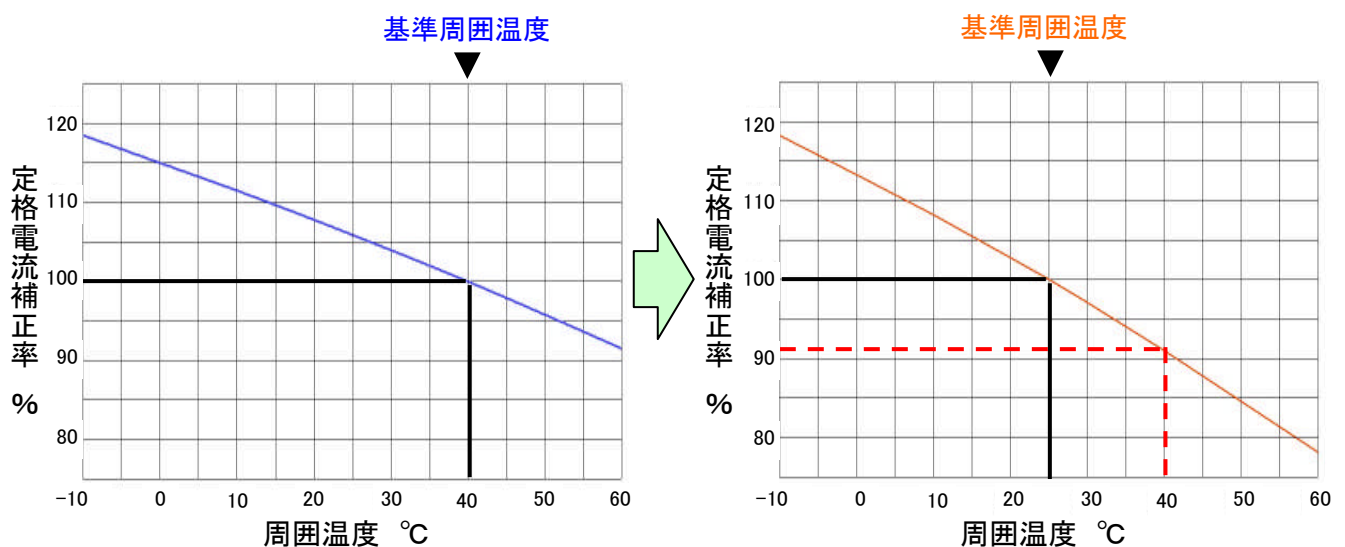
これにより、より安全に動作、配線保護することになります。

定格電流補正率について

基準周囲温度が、40℃から25℃に変更になったことにより、ご使用の際の定格電流の補正率が、従来品と異なります。

下図のように、新製品 CB32X をご使用の場合、周囲温度が40℃になりますと91%の補正率となりますのでご注意願います。

温度補正曲線 20A



従来品 CB32J 20A

新製品 CB32X 20A